

## 小規模事業者経営動向調査支援業務について

### 1. 調査目的

この調査は、愛知県愛西市における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とする目的とする。

### 2. 調査概要

#### (1) 調査時期

令和7年8月～10月

#### (2) 調査対象企業

愛知県愛西市内企業 100社

(建設業：26社、製造業：24社、卸売業：4社、小売業：14社、飲食業：9社、サービス業：17社、その他：6社)

#### (3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書内に明記しているDIとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加（良化）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値。

数値と天気記号の関係性は下記の通りであり、天気区分は愛知県商工会連合会の基準を踏襲している。

天気区分	快晴	晴れ	雲り	小雨	雨
天気記号					
DI数値	60.1～100	20.1～60.0	△20.0～20.0	△60.0～△20.1	△100.0～△60.1

#### (4) その他

小数点は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位で表示している。

令和8年1月28日作成  
愛西市商工会  
TEL: 0567-24-6122

愛西市商工会

## 中小企業景況調査報告書(愛西市商工会概略版)

(令和7年8月～10月実績)

### 1. 愛西市内における産業全体の景況

景況感はいずれの指標も悪化。今後も低調を見通す。

業種単位では、製造業・小売業・サービス業が全指標で悪化を示すも、建設業は見通しも明るく回復の兆しが見える結果に。

今月の産業全体の景況（対前月比）は、「売上 DI」が△13.3、「採算 DI」が△5.2、「資金繰り DI」が△18.9と、全ての項目において悪化の状況となっている。

対前年比においても「売上 DI」・「採算 DI」・「資金繰り DI」ともに対前月比と同様の傾向にあり、厳しい経営環境であると想定される。

今月の産業全体の景況（対前月比）を業種別でみると、悪化となっている DI が多いものの、建設業・卸売業・飲食業の 3 業種とも「売上」「採算」は良化になっている。

今後の見通しに関する DI は△13.7と、来年以降も厳しい経営を見通している。

各指標から厳しい状況であることがうかがえるものの、建設業は数値改善・上昇がここ数年で継続的に続いている。また、対象企業数が僅少ではあるが、卸売業・飲食業は前回調査時から多くの DI 値がポイント増で、改善の傾向にある。

#### ■産業全体の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△13.3		△5.2		△18.9
	前年		△10.1		△7.7		△14.6

#### ■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△13.7

\* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

#### ■令和6年8月～10月の調査結果（前回調査）との推移状況

- 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△3.3→今回△10.1）・「採算 DI」（前回△1.1→今回△7.7）・「資金繰り DI」（前回△7.0→今回△14.6）の各 DI が 10 ポイント未満ではあるものの減少している。
- 今後の見通しに関する DI は、前回調査の△12.4 に対し△13.7 で大きな変動はなく、今後の見通しの深刻さは継続している。

## 2. 業種別景況感

### (1) 建設業

前年比較の各指標は良化を示す。なかでも「売上」が好調。

見通しからも継続的な回復が想定される。

今月の建設業の景況は、対前月比で「売上 DI」が 16.7、「採算 DI」が 12.0 でプラスとなっている。また、「資金繰り DI」は△4.3 とマイナスだが、調査対象業種のなかでは比較的悪化の幅は小さい。

対前年比では「売上 DI」「採算 DI」「資金繰り DI」いずれもプラスであり、なかでも「売上 DI」は 33.3 と好調。

今後の見通しに関する DI は 12.0 であり、今後の景況感は引き続き改善されていくことが想定される。

#### ■建設業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		16.7		12.0		△4.3
	前年		33.3		14.3		15.0

#### ■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		12.0

\*DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

#### ■建設業のコメント

- 記載事項なし

#### ■令和 6 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回 4.3→今回 33.3）は 29.0 ポイント増、「採算 DI」（前回 0.0→今回 14.3）は 14.3 ポイント増、「資金繰り DI」（前回 0.0→今回 15.0）は 15.0 ポイント増で改善の傾向にある。
- 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が 8.3 であったのに対し 12.0 で 3.7 ポイント増となり、今後の景況感は一層の回復が想定される。

## (2) 製造業

「売上」の低迷がやや目立ち、前回調査時からも DI 値が低下している。  
見通しも低調であり深刻な経営状況にあることがうかがえる

今月の製造業の景況は、対前月比で「売上 DI」が△33.3、「採算 DI」が△8.7、「資金繰り DI」が△13.0と低調な状況にある。

対前年比においても「売上 DI」が△26.1、「採算 DI」が△18.2、「資金繰り DI」が△22.7でマイナスとなっている。

今後の見通しに関する DI は△17.4となっていることから、引き続き低調な状況が続くことが想定される。

### ■製造業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△33.3		△8.7		△13.0
	前年		△26.1		△18.2		△22.7

### ■製造業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△17.4

\* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

### ■製造業のコメント

- 記載事項なし

### ■令和 6 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「採算 DI」（前回△17.6 →今回△18.2）は前回と同程度であるが、「売上 DI」（前回 0.0→今回△26.1）は 26.1 ポイント減、「資金繰り DI」（前回△5.9→今回△22.7）は 16.8 ポイント減で悪化している。
- 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が 4.5 であったのに対し△17.4 で 21.9 ポイント減となり、今後も厳しい状況が続くことが想定される。

### (3) 卸売業

景況感は「売上」「採算」が好調。

見通しの結果を踏まえ、今後の動向を注視したい。

今月の卸売業の景況は、「資金繰り DI」が前月比・前年比ともに 0.0 で横ばい、「売上 DI」「採算 DI」は 50.0 ポイント以上の大幅なプラスとなっている。

一方で、今後の見通しに関する DI は△25.0 とマイナスであり、今後低調な状況になることが想定される。

なお、対象企業数は 4 社と少ないことに留意が必要。

#### ■卸売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		50.0		50.0		0.0
	前年		66.7		50.0		0.0

#### ■卸売業の今後の見通し



\* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

#### ■卸売業のコメント

- ・ 商工会への要望：人材紹介。

#### ■令和 6 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回 20.0→今回 66.7）は 46.7 ポイント増、「採算 DI」（前回 20.0→今回 50.0）は 30.0 ポイント増、「資金繰り DI」（前回△25.0→今回 0.0）は 25.0 ポイント増と改善の傾向が見られる。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△33.3 であったのに対し△25.0 で 8.3 ポイント増。今後の景況感は前年度より改善の傾向にあるが、今後厳しい状況になることが想定される。

#### (4) 小売業

全業種中最も厳しい状況で回復に向けた対策が急務。見通しも深刻。

##### 売上指標は前回調査時から改善傾向

今月の小売業の景況は、対前月比で「売上 DI」が△28.6、「採算 DI」が△35.7、「資金繰り DI」が△35.7 といずれも悪化となっている。

対前年比も同様に「売上 DI」が△38.5、「採算 DI」が△23.1、「資金繰り DI」が△38.5 でマイナスとなっている。

今後の見通しに関する DI は△58.3 と、今後も厳しい状況が続くことが想定される。

##### ■小売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△28.6		△35.7		△35.7
	前年		△38.5		△23.1		△38.5

##### ■小売業の今後の見通し

天気	DI
	△58.3

\* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

##### ■小売業のコメント

- 記載事項なし

##### ■令和 6 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「採算 DI」（前回 7.7→今回△23.1）は 30.8 ポイント減、「資金繰り DI」（前回 0.0→今回△38.5）は 38.5 ポイント減ではあるものの、「売上 DI」（前回△53.8→今回△38.5）は依然としてマイナスではあるが、前回よりマイナス幅は小さくなっている。
- 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査の△46.2 と厳しい結果だったのに対し△58.3 で 12.1 ポイント減となっており、厳しかった前年からさらに厳しい状況となることが想定される。

## (5) 飲食業

明るい景況感ではないが、前月比でみる「売上」「採算」は良化を示す。

全指標の DI 値も前回調査からポイント増。

今月の飲食業の景況は、対前月比で「資金繰り DI」が△25.0 がマイナスとなるものの、「売上 DI」「採算 DI」が 11.1 で良化となっている。

対前年比では「売上 DI」は 0.0 と横ばい、「採算 DI」は△22.2、「資金繰り DI」も△33.3 でマイナスとなっている。

今後の見通しに関する DI については△11.1 と、今後も厳しい状況が続くことが想定される。

なお、対象企業数は 9 社と少ないことに留意が必要。

### ■飲食業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		11.1		11.1		△25.0
	前年		0.0		△22.2		△33.3

### ■飲食業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△11.1

\* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

### ■飲食業のコメント

- 記載事項なし

### ■令和 6 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△37.5 → 今回 0.0）は 37.5 ポイント増、「採算 DI」（前回△66.7→今回△22.2）は 44.5 ポイント増、「資金繰り DI」（前回△57.1→今回△33.3）は 23.8 ポイント増と、いずれの DI 値も 20 ポイント以上のプラスとなっている。
- 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△60.0 であったのに対し△11.1 で 48.9 ポイント増となっており、マイナスではあるが、改善の兆しが見られる。

## (6) サービス業

すべての指標が悪化となる結果に。

また、前回調査時と比較して売上の低迷が際立つ。

今月のサービス業の景況は、対前月比で「売上 DI」が△41.2、「採算 DI」が△23.5、「資金繰り DI」が△29.4で、全ての項目が悪化を示している。

対前年比も「売上 DI」が△56.3、「採算 DI」「資金繰り DI」がともに△25.0でマイナスとなっている。

今後の見通しに関する DI は△25.0となっていることから、引き続き低調な状況が続くことが想定される。

### ■サービス業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△41.2		△23.5		△29.4
	前年		△56.3		△25.0		△25.0

### ■サービス業の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△25.0

\* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

### ■サービス業のコメント

- ・ 経営上の課題：高齢化
- ・ 商工会への要望：色々な勉強会をやってほしい。

### ■令和6年8月～10月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回△5.9→今回△56.3）は 50.4 ポイント減、「採算 DI」（前回 6.3→今回△25.0）は 31.3 ポイント減、「資金繰り DI」（前回△11.8→今回△25.0）は 13.2 ポイント減。とくに売上が深刻なポイントの推移となっている。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が△16.7 であったのに対し△25.0 で 8.3 ポイント減となっており、今後の景況感は引き続き低迷が想定される。

## (7) その他

### 前年比ではいずれの指標も良化となり、見通しも好調

#### 一方、前回調査時からはポイントの減少幅が目立つ

今月のその他の景況は、対前月比で「売上 DI」が△16.7、「採算 DI」が 0.0、「資金繰り DI」が△33.3 で、特に資金繰りの悪化が著しい。

対前年比では「売上 DI」が 40.0、「採算 DI」が 16.7、「資金繰り DI」が 20.0 と全ての項目においてプラスとなっている。

今後の見通しに関する DI は 16.7 となっていることから、状況が好転していくことが想定される。

なお、対象企業数は 6 社と少ないことに留意が必要。

### ■ その他の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△16.7		0.0		△33.3
	前年		40.0		16.7		20.0

### ■ その他の今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		16.7

\* DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

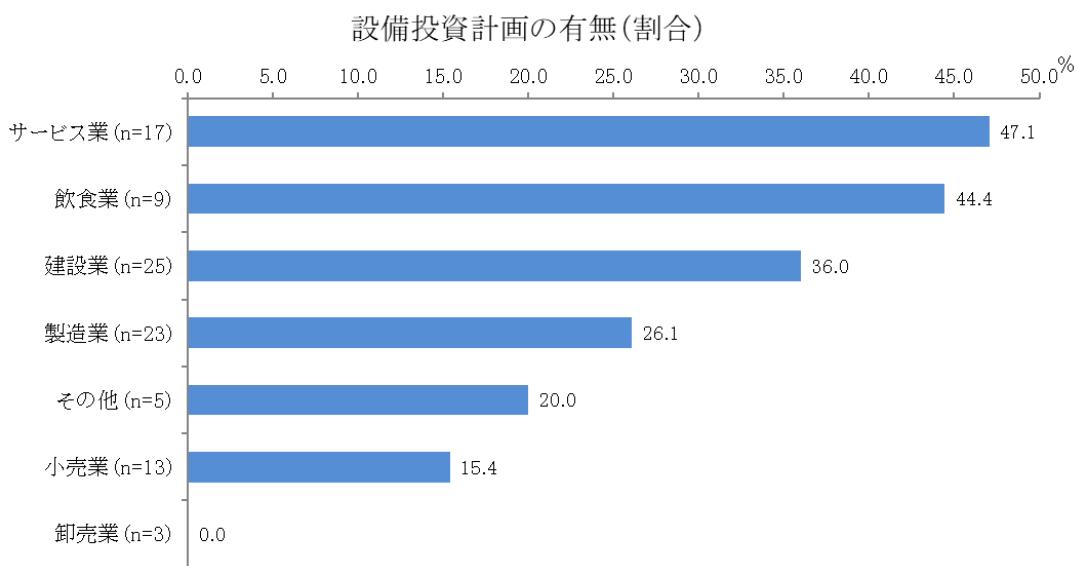
### ■ その他のコメント

- ・ 商工会への要望：酷暑での夏祭りの開催の是非。

### ■ 令和 6 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 「今月の景況」（前年比）の各 DI を前回調査と比較すると、「売上 DI」（前回 100.0→今回 40.0）は 60.0 ポイント減、「採算 DI」（前回 83.3→今回 16.7）は 66.6 ポイント減、「資金繰り DI」（前回 33.3→今回 20.0）は 13.3 ポイント減。「売上 DI」「採算 DI」で顕著にポイントが減少している。
- ・ 今後の見通しに関する DI を前回調査と比較すると、前回調査が 50.0 であったのに對し 16.7 と 33.3 ポイント減で、今後の景況感は低迷が想定される。

### 3. 設備投資の計画



### 4. 経営上の問題

業種	順位	経営上の問題点	割合*
建設業	1	人材確保・育成	42.3%
	1	原材料・仕入価格の高騰	42.3%
	3	外注先・仕入先・協力企業の確保	34.6%
製造業	1	人材確保・育成	45.8%
	2	販路の確保・開拓	37.5%
	2	設備の老朽化	37.5%
卸売業*	1	販路の確保・開拓	100.0%
小売業	1	原材料・仕入価格の高騰	64.3%
	2	資金繰り	28.6%
	2	需要の停滞	28.6%
飲食業*	1	原材料・仕入価格の高騰	66.7%
サービス業	1	設備の老朽化	41.2%
	1	原材料・仕入価格の高騰	41.2%
	3	需要の停滞	35.3%
その他*	1	販路の確保・開拓	66.7%

\*割合=選択企業数/業種ごとの企業数

\*10件未満は件数の1番多い項目のみを掲載